



- ◆国際ロータリー会長
ステファニーA.アーチック
- ◆第2660地区ガバナー 大橋 秀典
- ◆クラブテーマ「言葉ではなく行動で」

創立 2000年11月2日
例会日 木曜日 18:30-19:30
例会場 ホテル・アゴーラ大阪守口
事務局 守口市河原町10-5
ホテル・アゴーラ大阪守口5F
TEL06-6995-7440 FAX06-6995-7441
会 長 長野 良雄
幹 事 水谷 武志
会報担当 クラブ運営委員会
E-mail m-evening@msj.biglobe.ne.jp
<http://www.7b.biglobe.ne.jp/~m-eveningrc/>

本日例会 2025年 3月 6日(木) 第993回

担当：会員組織委員会

卓話：「質問力」

寺田 隆一 会員

前回例会 2025年 2月20日(木) 第992回

1. 開 会 会 長
2. ロータリーソング「それでこそロータリー」
3. お客様のご紹介
米山学友(元受入れ奨学生) 李 ゲツセンさん
米山奨学生 宋 ハヌルさん
4. ニコニコ箱報告(小計5,000円 累計207,000円)
福田会員 卓話宜しく申し上げます。
5. 幹事報告
 - ① 例会休会連絡 2/27(木) 細則休会
 - ② 事務局閉局連絡 2/21(金) 半日休暇取得
により13:00より勤務
 - ③ 会議開催連絡
3/1(土) 会長エレクト研修セミナー開催
水谷会長エレクト出席
3/2(日) 米山感謝祭開催
宋ハヌルさん、江端米山委員長、
小林カウンセラー出席
3/5(水) 第4回燦々会(会長・幹事)開催
長野会長、水谷幹事出席
 - ④ 3月例会開催日6日、13日、27日
※6日18:00～定例理事会開催
※20日は祝日休会
 - ⑤ 回覧 3/27(木) 親睦食事会(ザ・ループ)
出欠確認回覧
6. 出席報告(会員総数17名)
2月20日 出席9名 欠席8名 出席率52.94%
メイクアップ報告なし
7. 会長の時間
8. 本日のプログラム
担 当：クラブ運営委員会
卓 話：「輸出された和製漢字」
卓話者：福田 治夫 会員
9. 閉 会 会 長

会長の時間 「大阪平野 R C 創立50周年式典に出席して」

2月15日(土)大阪平野 R C の創立50周年式典に出席してきました。

参加者総勢250名で盛大に開催されました。祝宴では60kgのマグロの解体ショーがありました。解体されたマグロは寿司にして提供されるのですが、大阪平野 R C に寿司職人の会員がおられ、クラブの会員約10名が2日間握りの勉強をされたそうです。

大阪平野 R C の姉妹クラブは、プラカノン R C、ワイキキ R C、台北遠東 R C の3クラブあり、各クラブから沢山の会員が出席していました。またウクライナの支援もしておられ、避難されている方3名も出席しておられました。その際、関西ウクライナ友好協会大阪平野 R C チャリティゴルフコンペの案内がありましたので、お知らせします。

開催日：2025年4月7日(月)

開催場所：有馬カンツリー倶楽部

参加費：20,000円(支援金3340円含む)

◎米山学友 李 ゲツセンさんが

米山記念館の P R 活動に参加

米山記念館の H P に、P R 動画が U P されていますので、是非ご覧ください。

米山記念館 URL

<https://yoneyama-umekichi.jp>

次回例会 2025年3月13日(木) 第994回

「第3回クラブ協議会」(新旧合同)

岡田ガバナー補佐来会

佐藤ガバナー補佐エレクト来会

3月の例会予定

3月 6日(木) 通常例会

18:00～定例理事会

13日(木) クラブ協議会(新旧合同)開催

20日(木) 祝日休会

27日(木) 親睦例会(「ザ・ループ」)



卓話 「中国に渡った和製漢語」

福田 治夫 会員

以下インターネットより編集

古代、中国から日本に伝来した漢字は、長い歴史の中で、日本独自の「和製漢語」が数多く作られてきた。たとえば、江戸時代に西洋から輸入された書物を日本語に翻訳する作業が行われたり、明治維新後は急速な西洋化によって国の制度や思想、法律、学術用語などが、次々と日本語化されていったのである。

そんな日本製漢字が中国で使用されるきっかけになったのは、1894年（明治27年）に日清戦争に敗北した清（中国）が、素早く近代化を遂げた日本に学ぼうと、数千人もの留学生を日本に派遣したこと。清の留学生は積極的に日本の書物を中国語に翻訳していったのだ。もちろん、留学生たちが独自に翻訳した単語もあったが、結果的に日本語のほうが広まったのである。たとえば「電話」は、中国では英語の“Telephone”の発音に漢字を当てた「泰来風」という漢字が作られたが、日本語の「電話」の方が普及した。逆に日本語の「株式会社」は中国では広まらず、中国で作られた「有限公司」のほうが使われている。いずれにせよ、かなりの日本語が中国語になっているという事実を、日中双方の国民があまり知らないというのは面白い現象であろう。

■中国語になった日本語の例

電気／電話／電車／自転車／病院／弁当／手帳／野球／雑誌／美術／組合／警察／出版／倫理／哲学／文化／原子／時間／空間／速度／温度／概念／理念／教養／義務／経験／会話／関係／理論／申請／演出／活躍／基準／主観／否定／接吻／失恋／目的／健康／常識／現金／工業／輸出／不動産／領土／投資／市場／企業／国際／経済／指数／債権／政治／革命／解決／社会／主義／法律／共産党／左翼／幹部／指導／議会／協定／市長／人権／批評／特権

「外来語」とは、漢語を除き、外国語をそのまま日本語として使用している語のことです。日本でつくられた「和製外来語」も外来語に含まれます。

**◆ガバナー月信2月号 ガバナーメッセージ
「平和構築と紛争予防月間」**

2660地区ガバナー 大橋 秀典

ステファニー・アーチックRI会長は11月の会長メッセージでこう述べています。

『平和への理念は私にとって特に重要です。私たちが平和を築く最も効果的な方法の一つが、ロータリー財団の産物であるロータリー平和フェロシップです。このプログラムは、世界中の平和・開発の専門家やその志望者が、紛争を予防し終結させる方法を学ぶのを支援します。』

また、オットー&フラン・ウォルター財団からの1,550万ドルのご寄付のおかげで、イスタンブールのバーチェシェヒル大学に新設されるロータリー平和センターで、今後もさらに多くの地域の平和構築者を支援できるようになりました。新たな平和センターの開設は非常に大きな成果であり、2025年にイスタンブールで開催されるロータリー会長主催平和会議でも祝われます。

2月20～22日に開かれるこの3日間の会議では、ロータリーファミリーが平和を推進するさまざまな方法に焦点を当てます。基調講演、パネルディスカッション、分科会では、平和構築のためのアイデアを共有し、あらゆる場所で平和を推進するための有意義な対話を持つことができるでしょう。』

また、先月ロータリー研究会で来日された折には、国際基督教大学の平和フェローセンターを訪れ、平和推進について平和フェローやロータリアンと語り、新たにICUローターアクトクラブも設立されました。アーチック会長の平和への強い思いを身近に感じ、今年度ガバナーとして何ができるのか、改めて考える機会となりました。

当地区は、大阪・関西万博のテーマウィークに協賛し、「平和と人権」ウィークの8月1日には、青少年の提言「平和構築と人権擁護」と題し、当地区からの元グローバル奨学生バツィー亜夢斗さん、山口真理子さん、渡辺栞さんらがそれぞれ現場での体験や課題を語り、青少年を交えたパネルディスカッションを行います。ロータリーのプログラムを通し、現在直接平和に寄与している人材の活躍の様子や生の声を聴くのを楽しみにしています。

これからも、ウクライナやガザ等世界各地で起こる紛争解決に直接寄与する人材を育て、平和に貢献し、マジックを起こしましょう。

(ガバナー月信2月号「ガバナーメッセージ」より抜粋)